

2011年度研究部会活動記録

| | | |
|----------------|--|-----------|
| 部会主任名 | 鈴木健夫 | 現代政治経済研究所 |
| 研究課題：「越境」の歴史世界 | | |
| 月/日 | 活 動 記 録 | |
| | <p>人間社会にはさまざまな「境界」がある。自然的・地域的境界、民族的境界、政治的・行政的境界、経済的境界、宗教的境界、文化的境界等々、人びとはこのあまたある「境界」のなかで、そして同時にこれら相互に織り成す「境界」を越えて、日々の生活を送っている。こうした「境界」は混じりあうことで「共生」を実現していることが多いが、同時に、「境界」をめぐるさまざまな争いが日常的・非日常的におこっている。もとより、これらの「境界」は人びとの自然との、他の民族との、他の国家との、他の経済圏との、他の宗教との、他の文化等々との「共生」を阻害してはならないし、むしろそうした他の世界との「共生」を支え、それを確かにするものでなければならない。</p> <p>今日、グローバリズムの大きな波が世界を襲い、インターネットが「境界」の現実性を失わせているなかで、だからこそ、まさにこの現代の位相に身をおいて上記のようなさまざまな、歴史上幾度も再生されてきたともいえる「境界」の意義を改めて考察し、今後の人間社会の在り方にひとつの展望を与えることが要請されている。</p> <p>本研究部会は、以上のような問題意識の下に、本年度、以下の研究集会を開催し、活発かつ有益な議論を行ない、共同研究を進めることができた。</p> <p>4/16 田中淳一研究協力者（経研博士課程）「航行自由化期のライン下流域における順航輸送体制の展開と解体」 矢澤大吾研究協力者（経研博士課程）「初期工業化期（18世紀末～19世紀前半）のザクセン工業奨励政策——懸賞報奨金制度・補助金政策と技術導入——」</p> <p>7/9 谷澤毅特別研究員（長崎県立大学経済学部教授）「「大市の時代」のライブツィヒ大市—近世ドイツ・中欧商業の結節点」</p> <p>10/15 シンポジウム：「ノモンハン事件」再考 岩城成幸（元国立国会図書館専門調査員）「「ノモンハン事件」から72年 —「ノモンハン事件」はまだ終わっていない？」 ヤコフ・ジンベルグ（国士舘大学21世紀アジア学部教授）「回顧録の真偽を問う —ジューコフ元帥による「ノモンハン事件」の歪められた初期段階解説」</p> <p>12/10 辻智佐子特別研究員（城西大学准教授）「今治地方におけるタオル工業の発展—高度成長期を中心として」</p> <p>12/16 シンポジウム「ロシア革命前における仏露関係」（協賛、主催：大東文化大学経済研究所） 鈴木健夫兼任研究員（政治経済学術院）「近代フランスにおけるロシア社会論」 中山裕史（元桐朋学園短期大学部教授）「露仏関係の変容過程」 松村岳志特別研究員（大東文化大学経済学部准教授）「デカブリストとフランス」 篠永宣孝（大東文化大学経済学部教授）「露清銀行と露亜銀行の設立—フランスとロシアの協調と軋轢—」</p> | |

| | |
|-----------------|---|
| 来年度の活動計画 | 部会研究員・研究協力者のほか国内外の研究者の報告による研究会を開催する。 論文集を刊行する。 |
| 終了の場合 | 研究成果刊行の時期： 2013 年 3 月（予定） 研究成果の公開方法： 現代政治経済研究所研究叢書 |